

あとがき

この「あとがき」を3月中旬に書いておりますが、COVID-19の第8波が収束して、8日に開幕した第5回「ワールド・ベースボール・クラシック」(WBC)が大きな盛り上がりを見せています。本号がお手元に届く頃には、侍ジャパンのWBC優勝で歓喜の余韻に浸っていることを心から願っております。

さて、本号の「技術講座」には、微生物検査の基本的かつ極めて重要な「抗酸性染色」と「病原細菌用免疫血清の使い方」が掲載されています。主治医が結核を疑っていない症例において、喀痰のGram染色でガラス傷のように透けて見えた場合に、微生物検査技師が機転を利かせて抗酸性染色を追加で行い、菌体が観察され、培養・同定検査の追加オーダーを示唆したのみならず、感染管理においても主治医に感謝されて「微生物検査技師冥利に尽きる」経験をお持ちの方々もいるかと思います。同定検査では、技術革新ともいえる質量分析装置が導入された現在においても、赤痢、腸チフス、パラチフス、コレラなどの三類感染症の診断には免疫学的検査は必須です。これら2つの総説には、抗酸性染色や病原細菌用の免疫検査の押さえておくべき考え方や技術の具体的なポイントとコツがわかりやすく解説されていますので、ぜひご一読いただければと思います。

その他、「オピニン」「病気のはなし」「トピックス」「フォーカス」「臨床検査のピットフォール」「ワンポイントアドバイス」「ラボクイズ」「読者質問箱」など、日常検査にすぐに役立つ論文ばかりですので、ぜひ、最後までお目通しください。(大楠清文)

第51巻6号(2023年6月号)予告

技術講座

- ・血小板凝集能検査の基礎と臨床 國島 伸治
- ・呼吸機能検査
— 2021年刊行ハンドブックに基づいて 山本 雅史
- ・下肢静脈瘤における超音波検査のポイント 秋山 忍

トピックス

- ・梅毒治療薬
— ペンシリンベンジルペンザチンの再興 内田 裕之
- ・クロウ・深瀬(POEMS)症候群と VEGF 橋口 照人

フォーカス

- ・薬剤性肺炎患—分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬における作用機序 野口 陽一朗, 他
- ・臨床検査技師による病棟採血の取り組み 辻 友紀

病気のはなし

- ・食中毒 小西 典子
- 過去問 de セルフチェック!
・血液製剤 国分寺 晃

疾患と検査値の推移

- ・脂肪肝(NASH, NAFLDを含む)
— 診断法および検査値と画像所見の推移 和久井 紀貴

臨床検査のピットフォール

- ・SARS-CoV-2抗原定量検査の注意点! 金 貞姫

読者質問箱

- ・脳出血検体に、なぜアミロイド染色が必要なのか 藤田 大貴

ワンポイントアドバイス

- ・ルーブスアンチコアグラントの臨床的意義と測定時のポイント 山崎 哲
- 臨床医からの質問に答える
・LAHPSって何ですか? 森下 英理子

編集室より

若い方には特に教育、教養が大切ですが、年配者にとっても“きょういく”“きょうよう”が大事だそうです。つまりは、今日行くところがあり、今日の用事(今日すること)があるということが、いつまでも元気で長生きの秘訣だそうです。巣ごもりもそろそろ卒業してよいようですし、これからは、2つの“きょういく”“きょうよう”のためにも、人との交流、行動の幅を広げられるとよいなと思っています。(M)

編集委員(五十音順)

矢富 裕(編集主幹)・大楠清文・平石直己・八畝恒芳・横田浩充

編集協力委員(五十音順)

大川龍之介・大沼健一郎・岡田光貴・沖野久美子・菊地良介・木下朋幸・木村圭吾・草薙宏有・河野浩善・国分寺晃・佐々木雅一・清水康平・藤崎 純・松田和之・丸川活司・柳田絵美衣・脇田 満

検査と技術

2023年5月1日発行(毎月1日発行)
定価:1,870円(本体1,700円+税10%)

2023年年間購読料(2冊の増大号を含む12冊、税込、配送料弊社負担)

冊子版 27,940円 電子版/個人 27,940円
冊子+電子版/個人 33,440円

発行 株式会社 医学書院	本誌編集室	TEL(03)3817-5713	別刷取扱 販売・PR部	(03)3817-5650
代表者 金原 俊		FAX(03)3815-7802	印刷 (株)アイワード	(011)241-9341
〒113-8719	E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp		広告取扱 日本医学広告社	(03)5226-2791
東京都文京区本郷1-28-23	URL www.igaku-shoin.co.jp/journal/543			

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2023, Printed in Japan.

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

「検査と技術」は、株式会社医学書院の登録商標です。

(担当 小山・長原・三由・田村・能藤)